

日本服薬支援研究会

第9回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー

簡易懸濁法の正しい知識と 正しい手技を身につけよう！

(新経腸栄養(ISO 80369-3)規格製品を使用します)

開催日時 2023年8月6日 (日) 9:55 ~15:30 (55分の休憩を含む)

開催形式 ZOOM Meetingを用いたLIVE配信 *事前参加申し込み必要

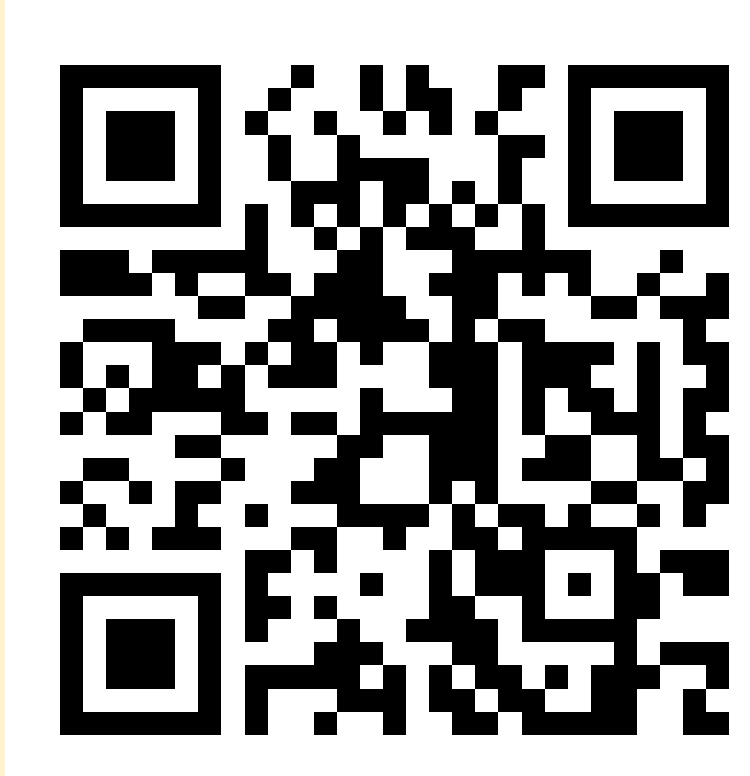
参加申込 以下のURL もしくは右記のQRコードよりお申込み下さい。

申込期限 2023年7月14日 定員 40名 (先着順)

*第1回~第8回のWeb実技セミナーと同一内容となっています。

*プロジェクターや大型モニター等を用いて、複数人でご参加いただくことは出来ません。お一人様ずつお申込みください。

<https://fukuyaku-event20230806.peatix.com/>



参加費 会員 6,000円/JHOP会員 8,500円/非会員 11,000円

*キャンセルによる参加費の返金は出来ませんのでご了承ください。

*非会員の方で、参加にあたり、研究会に入会 (入会費5,000円) し、会員としての参加をご希望される方は、事前に入会承認を受ける必要があります。承認まで数週間かかりますので、お早目にご入会ください。会員として承認されていない場合は、非会員としての参加扱いとなりますのでご注意ください。

*参加費には、資料代、材料代 (実習医薬品、チューブなど)、郵送料等が含まれます。

認定単位 日本服薬支援研究会/簡易懸濁法認定制度 (2単位)

日本老年薬学会認定制度「実技実習等：11-D 簡易懸濁法」

(実技セミナー終了後にお送りする参加証を認定制度の申請に使用できます)

日本薬剤師研修センター認定薬剤師制度 (3単位) 申請中

お問合せ先 不明の点はメールにてお問合せください。

日本服薬支援研究会 担当：宮本悦子、毎田千恵子

E-mail : fukuyaku.event@gmail.com

第9回 簡易懸濁法 Web 実技セミナー

簡易懸濁法の正しい知識と正しい手技を身につけよう！

プログラム

9:30 開場

9:55 開会・連絡

10:00 講義「簡易懸濁法の基本と製剤学」

倉田なおみ先生（昭和大学薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 客員教授・
臨床薬学講座 臨床栄養代謝学部門 客員教授）

10:55 実技講習 A ブレイクアウトルームにて

1ルーム10名（指導薬剤師1名＋認定薬剤師など1名＋受講生8名）で実施

12:30 昼食・休憩

13:25 実技講習 B ブレイクアウトルームにて

1ルーム10名（指導薬剤師1名＋認定薬剤師など1名＋受講生8名）で実施

14:35 講義「実技セミナー終了後の解説」

倉田なおみ先生

15:20 質疑応答

倉田なおみ先生

15:30 閉会・解散

注意事項

- * 実際の医薬品を用いた実習となります。参加申込完了後、使用する医薬品等のご指定の住所へ郵送いたします。お取り扱いには十分に注意いただき、各自の責任で廃棄ください。
- * お一人ずつ手元を確認しながら実習を進めますので、1人1台のPC、カメラ・マイク・イヤホン（ハウリング防止のため）をご用意ください。携帯からのアクセスは、実習に支障がありますので、使用しないでください。
- * セミナーの様子画面キャプチャ機能による録画やスクリーンショットによる写真の撮影はご遠慮ください（実習時にご自身で行った崩壊懸濁状況の撮影などは構いません）。
- * 簡易懸濁法認定薬剤師要件の実技セミナー1回分（2単位）の取得が可能です。
- * 日本老年薬学会認定制度「実技実習等：11-D 簡易懸濁法」の認定は、実技セミナー終了後にお送りする参加証で、認定制度の申請に使用できます。詳細は日本老年薬学会認定制度の「認定要件」をご確認下さい。
- * 日本薬剤師研修センターの研修認定も取得可能です（申請中）。申込の際に薬剤師免許番号を記入してください。
- * 途中参加・途中退出された場合、いかなる理由でも実技セミナー1回分（2単位）の単位は発行されません。
- * Web環境はできる限り有線で接続され、カメラ、マイクの状態を事前に確認ください。

事前準備

- * 実技セミナーでは、以下の物品等を使用いたします。事前にご準備をお願いいたします。
- 温度計（可能であれば、お湯の温度の確認に使用します）
- 攪拌棒（割り箸などで結構です）
- ペンチ（無ければ、錠剤に亀裂を入れられるもの）
- 計量カップ（お湯200mLが量れて、全量400mL以上入る耐熱性のプラスチック製のもの）
- 水（水道水やペットボトルの水など）
- 熱湯（約100℃のお湯を使用します。ポット、ケトル等で開始前に沸かして下さい）
- 廃液入れ（懸濁液のチューブ通過後の回収に使用します）
- ペーパータオル（ティッシュペーパー）、布巾など、ゴミ入れ